

総務企画委員会

○藤澤 和成 ○鈴木 一樹
水柿 美幸 保坂 直樹
稲川 新二 小島 信一
榎戸甲子夫 赤城 正徳
○委員長 ○副委員長

6月19日に開催された総務企画委員会では、議案5案（条例議案4案、補正予算議案1案）について審議し、全て原案のとおり可決されました。

○議案第50号

筑西市附属機関に関する条例の一部改正について

問この会議の目的は。

答市の魅力とは何か、市民から意見を募って共にシティプロモーションを推進し、市民自らが誇りを持って市内外に案内ができるよう郷土愛の醸成をはかつていく。

問プロジェクト会議とシティプロモーション推進課の役割分担はどのようなものか。また、どのようにサポートしていくのか。

答発足当初はしっかりとサポート

をしていきたいが、最終的には自走化できるようにしたい。座学だけでなく、ワークショップや街に出て実際に感じていただく機会を設けたいと考えている。

○議案第56号

令和5年度筑西市一般会計補正予算（第2号）

◇下館駅周辺にぎわいづくり推進事業

問運営事業者は市になるのか。

答市内の業者に広く声をかけ、プロポーザル方式で選定することを検討している。

問今後、毎年度予算を投じるのか。

答施設は市が整備するが、運営者責任の範囲外での破損等を除けば毎年度の経費としては想定していない。

問プロポーザルの参加条件として、団体での参加は視野に入れていくのか。

答今後、プロポーザルの仕様を決定していくことになるが、たくさんの方に応募していただきたいと考えている。

福祉文教委員会

○中座 敏和 ○仁平 正巳
新井 暁 國府田和弘
日高 久江 小倉ひと美
大嶋 茂 三浦 譲
○委員長 ○副委員長

6月20日に開催された福祉文教委員会では、議案5案（地方独立行政法人議案1案、契約議案1案、条例議案2案、補正予算議案1案）について審議し、全て原案のとおり可決されました。

○議案第48号

地方独立行政法人茨城県西部医療機構第2期中期計画の変更について

問現在医師数が目標値37名を達成しているが、目標値の変更は。

答常勤医師37名中、研修医や専攻医も勤務。年度途中に交代や派遣元に戻ることもある。産休や育休等により医師数は変動。現状でも2〜3名の医師確保が必要。

問健診センターのスタッフ数は。

答令和7年度は医師5名、看護師

5名、医師技術職5名、事務職6名の合計21名。令和11年度は医師7名、看護師8名、医療技術職8名、事務職9名の合計32名。

○議案第56号

令和5年度筑西市一般会計補正予算（第2号）

◇放課後児童クラブ整備事業

問受入れ対象者と人数は。

答下館小学校区の1年生から6年生を対象とし、30名程度。

問希望者全員の受入れは可能か。

答令和5年6月1日現在、下小児童クラブは、4クラス定員160名に対し、利用者159名。はぐるっこ児童クラブは、1クラス定員28名に対し、利用者35名。保護者の就労状況により、必要に応じて受け皿の確保を行っていく。



経済土木委員会

- ◎三澤 隆一 ○森 正雄
 塚田 砂与 吉富 泰宣
 田中 隆徳 増淵 慎治
 堀江 健一 秋山 恵一
 ◎委員長 ○副委員長

6月21日に開催された経済土木委員会では、議案3案（市道路線議案2案、補正予算議案1案）について審議し、全て原案のとおり可決されました。

○議案第56号

令和5年度筑西市一般会計補正予算（第2号）

◇農林航空防除支援事業

問 ヒメトビウナに関する予報は。
 答 県西県南地区における、小麦の圃場での捕殺による調査では過去8年間で最多となる予報である。

◇道の駅拡張整備事業

問 基本計画策定業務委託に係る人件費単価は日割り計算でどの程度高騰しているのか。
 答 平成27年と令和5年の単価比較

について、主任技師が日額49,500円だったものが、62,200円で約1.26倍高騰している。

問 既存の道の駅とどのように一体性を持つて整備するのか。

答 地権者の協力が必要不可欠となるので、地権者の意向を確認しながら、整備する範囲を確定し、既存の道の駅とどこで一体性を持たせられるか、どういった形でアプローチするかを基本計画の中で策定していく。

【委員からの主な意見】

● あくまでもゴールありきの手法ではなく、慎重に議論、計画をして、皆様が満足できる道の駅にしていきたい。
 ● ワーキングチームには行政だけでなく、子育て世代、若者世代を加え、有効活用できるような整備委員会を構成していきたい。



議案質疑

第2回定例会に提出された議案に対する質疑と回答の主なものは次のとおりです。

○議案第56号

令和5年度筑西市一般会計補正予算（第2号）

◇下館駅周辺にぎわいづくり推進事業

問 この事業で使用する土地面積は。
 答 整備計画場所は、筑西市立中央図書館と五行川の間にある広場と、図書館北側のポケットパークであり、使用面積は合計300㎡を想定している。幅広い年齢層の市民が集える憩いの空間を創出し、下館駅周辺のにぎわいづくりと、市民の郷土愛醸成や、定住促進につなげていく。デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、コンテナハウスショップの展開とキッチンカーを誘致し、カフェ機能を有するにぎわいの場を整備する。

問 下館駅から離れた場所で行う目的は何か。

答 中心市街地には公共施設が集積しており、各施設の魅力を更に創出することで、下館駅を含む各施設間を回遊する人流をつくることを目的としている。そこへ店舗経営者等の方々の販売意欲や創意工夫が加わり、更なるにぎわいづくりへ発展することを目指す。

◇児童育成支援拠点事業

問 支援を受けるB&G財団の概要は。
 答 青少年の健全育成と地域住民の健康づくりを目的に昭和48年に設立。平成24年に公益財団法人に認定され、平成26年には青少年健全育成5か年計画を策定し、子供から高齢者、障がい者など、誰もが集える場の創出と、地域活性化に取り組んでいる。平成30年からは、子ども第三の居場所事業に着手し、子供たちが安心して過ごせる環境で、人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣など、自立に向けて生き抜く力を育む第三の居場所を、全国38か所で開設している。

